

製品名: ウロテンシン II ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab19651**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	人間、猿
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	14kDa

抗原情報

遺伝子名	UTS2
別名	UTS2; Urotensin-2; Urotensin II; U-II; UII
遺伝子 ID	10911.0
SwissProt ID	O95399
免疫原	抗血清はヒトウロテンシン II 由来の合成ペプチドに対して作製された。AA 範囲: 48-97

背景

この遺伝子は、ヤツメウナギからヒトに至るまで完全に保存されている活性環状ヘプタペプチドである成熟ペプチドをコードしています。この活性ペプチドは血管収縮剤として作用し、脳組織でのみ発現します。遺伝子ファミリー名の類似性にもかかわらず、この

遺伝子は、サウバジン/副腎皮質刺激ホルモン放出因子/ウロテンシンIファミリーに属するウロコルチンとは相同性がありません。成熟ペプチドを生成するために、プロタンパク質の大部分が切断されます。この遺伝子には、異なるプレプロタンパク質アイソフォームをコードする転写バリエーションが報告されています。[RefSeq 提供、2008年7月]、機能: 強力な血管収縮剤、類似性: ウロテンシン-2ファミリーに属する、組織特異性: 脳特異的。

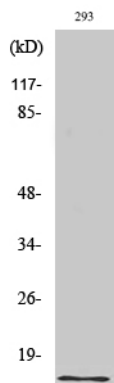
研究分野

シグナル伝達、成長因子/ホルモン、ホルモン、心血管、動脈硬化、高血圧、血管収縮、血液、血圧調節、血管系

画像データ



ウロテンシン II 抗体を使用した 293 細胞溶解液のウェスタンブロット分析。



ウロテンシン II ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。